

## 第14回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第14回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催しました。
- 今回の研究会では、最初に、石炭技術を始めとした炭素資源研究の第一人者である九州大学の持田勲名誉教授から、「エネルギー・環境領域における我が国の成長と地域振興」と題し、エネルギー・環境分野を取り巻く現状や課題について情報提供いただくとともに、地域のエネルギー政策が目指すべき方向性や、地域が持つべきグローバルな視点（グローバルな視点）などを御提案いただきました。

「地域が目指すべき姿」のヒントとなる貴重な情報を御提供いただけたと、持田名誉教授には深く感謝しております。
- 次に、消費生活アドバイザー・環境カウンセラーの林真実さんから、「くらしの中の省エネ・節電」と題し、消費者の視点から見た省エネ・節電の現状や課題について情報提供いただくとともに、地域エネルギー政策やものづくりに期待する取組みを御提案いただきました。

これまで研究会において課題とされていた「消費者の視点に立った取組みの方向性」等を明らかにすることができたと、林さんには深く感謝しております。
- また、最後に、これまで2年間にわたって進めてきた研究会の議論の取りまとめに向け、非公開で、委員間による総括議論を行いました。
- 次回の研究会は3月上旬に開催し、これまでの議論の取りまとめを行い、地域におけるエネルギー政策の課題や目指すべき将来像、取組みの方向性などを、県に対し報告・提言したいと考えております。